

名張市立病院だより

きらり

No.19

発行/名張市立病院
 〒518-0481
 三重県名張市百合が丘西1-178
 ☎ 0595-61-1100(代表)
 ☎ 0595-64-7999
 ✉ hp-somu@city.nabari.mie.jp
 名張市立病院 検索



新しく医師が着任しました

4月1日付で、市立病院の医師の異動があり、内科医師2人(うち1人は三重大学寄附講座の助教として三重大学から派遣)、外科医師1人、整形外科医師1人が着任しましたので、ご紹介します。

循環器内科副部長兼内科医長 水谷 英夫

4月から名張市立病院で勤務しております。前任の泉先生に代わりまして循環器内科を引き続き担当することになりました。

当循環器内科では、以前から狭心症や心筋梗塞などの治療に積極的に取り組んでおります。そのため、原因となります心臓の周りを走る血管である冠動脈の狭窄を、より早く、より正確に評価し適切な治療へと結びつ

循環器内科副部長兼内科医長 水谷 英夫

けるため、昨年7月から新しい血管造影装置を取り入れ、また本年4月からは冠動脈CT画像も外来検査で実施できるようにしました。また、今後も、今まで以上に良質な医療を地域の皆様に提供できるようにと、スタッフ一同、日々、一生懸命取り組んでいます。



域の住民の皆様にも少しでもよりよい医療を提供できるように頑張りたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

整形外科医師 竹上 徳彦

4月から名張市立病院で勤務しております。高齢化社会となっている今日は、不幸にも転倒などにより骨折などのケガ(外傷)をされる人も増えてきております。また骨折をしなくても、年齢を重ねることにより腰痛や膝痛、肩痛などを患っている人もたくさん見えるかと思えます。そのような痛みを取り除き、少しでも元の状態・生活に戻れるよう手術療法や保存的治療などで

手助けを行うのがわたしたちの役割だと考えています。疾患だけでなく、年齢や元の歩行状態、家庭環境などの背景を考慮した上で、皆さまにあった最善の治療(医療、看護、介護など)を行っていきたく思っています。

整形外科医として少しでも名張をはじめとする伊賀地区の医療のお役に立てるよう日々精進したいと考えていますのでよろしくお願ひ致します。



外科医師 川嶋 八也

4月1日付で外科医として勤務させていただいています。わたしはこれまで10年ほど神奈川県、栃木県で消化器外科医として勤務し、一昨年は一般医として東京の病院に勤務していました。昨年、以前から関心のあった熱帯医学を長崎大学で一年間勉強していました。今回、ご縁あつて名張市にお世話になることになりました。初めての土地で文字通り右も左も分からないありさまで、皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

名張市立病院では患者様の高齢化が見受けられるように思



ます。高齢者に対する周術期管理および手術など初心にかえり実施しなければならぬと感じています。同時に患者様と職員との会話を聞く度に地域に密着した、信頼関係の確立された病院であることを感じさせられています。自分も早くその一翼を担えるように頑張りたいと存じます。

三重大学から派遣(三重大学寄附講座助教) 内科医師 御前 秀和

初めまして。4月1日から名張市立病院に着任しました。名字は「御前」と書いて「みさき」と読みます。大阪出身で、医師11年目になります。愛媛大学医学部に入学してから16年間、愛媛で生活し、今回、ご縁があり名張に引っ越してまいりました。温暖な愛媛と比べると、当然ですが伊賀盆地は気候も違っていました。

愛媛では地域密着型の病院などで勤務し、総合診療を担当していました。最初に何でも相談してもらえようという心でがんばりました。疾患だけを診るのではなく、患者全体や家族背景、社



会背景まで考慮することを大切にしたいと思っています。まだ名張での生活も始まったばかり。名張の地域性を知ることともこれから家族と一緒に深めていき、当該地域医療のさらなる向上に少しでもお役に立つことができよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

研修を終えた2人の医師が引き続き市立病院に勤務

現在、新人医師は「全体的な診察能力を身につけるための臨床研修を2年間受ける(前期研修)」という制度により、大規模病院だけでなく、地域の中小病院でも研修医を受け入れることができるようになっていきます。

市立病院では、平成17年度以降、医療施策への貢

献はもちろん、医師の確保にもつながることから、積極的に研修医を受け入れています。
このたび市立病院での2年間の前期研修を終えた2人が引き続き内科医師として市立病院で勤務することになりました。お話を伺いましたのでご紹介いたします。

必要とされる医師になれるように頑張ります



佐々木 賢 内科医師

みのあった地域であったこと、忙しい病院できりぎりしい環境で働ける環境が自分に適していると考えたためでした。大病院では、見ているだけの研修で主体的にかかわりません。

前期研修では、自ら診断すること、責任感を持ち、やりがいを感じながら診療できるとし、患者様の喜ぶ姿を見ると、さら

る気がわいてきました。また、人としても尊敬できる先生に出会い、そばでもっと学びたいと思えました。医師3年目となる今年も、主治医として診療に携わりますので、今まで以上のやりがいと、責任を感じています。

これからも、市民の皆様が必要とされる医師になれるように頑張ります。

学んだことを生かし、市民の皆さんのお役に立てるように頑張ります



十時 利明 内科医師

症例が経験でき、たくさん患者様に接することができるからです。また、大学で研修をできることも魅力の一つでした。前期研修は、経験を積んだ医師に直接教えていただける恵まれた環境の中で学ぶことができました。

わたしは消化器内科の専門医になることを目指しています。そのためには外科での研修も必要となります。今回、外科での勉強を

させていただきながら引き続き勤務させていただくことになりました。今まで学んだことを生かし、市民の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。
今年4人の研修医が、名張市立病院で新たな一歩を踏み出します。研修医が多いと病院に活気が出てきます。今後も、後輩ともどもよろしくお願ひします。

初期研修医を新たに4人採用

平成24年度の研修医は、2年目の2人に加え、新たに4人が市立病院で学びます(研修医が6人になります)。4人の研修医については、8月発行の「きらり」でご紹介します。



市立病院ナビ

新しい機器のご紹介

放射線室 室長 中野 博文

市立病院では、国の地域医療再生基金を活用し、昨年度、新しく医療機器を導入しました。

今回紹介するのは「X線一般撮影・画像読取装置」です。以前の機器に比べ、少ないX線量で同等以上の撮影ができ、撮影の確認スピードも早くなりました。また、撮影したX線写真をデジタル化し、外来診療室や病棟で見ることが可能になりました。

3月に「きらり」で紹介したCT装置を含め新しい機器は、検査の速度も上がり患者様の待ち時間の短縮、負担軽減につながっています。

また、検査を受ける患者様には「息を止めることがつらい」「寝転ぶことがつらい」などさまざまな身体的条件があります。わたしたち検査技師は、患者様にできる限り負担をかけないことを心掛け、正確で迅速な検査を行ってまいります。



▲ X線一般撮影・画像読取装置

診療室からの実況申継

診療に関するお問い合わせは
市立病院医事室へ ☎61・1100

乳腺外来を開設



中村 卓 乳腺外科医師
(写真左)

名張市の皆さん、こんにちは。名張市立病院において平

成24年4月から毎週火曜日午後には乳腺外来を担当させていただきますことになりました。
わたしは、東京のがん研有明病院で乳がんの専門研修を終了し、出身校である奈良医大に勤務していましたが、4月から、名張市立病院で診療を行うことになりました。

他の曜日には奈良医大、あるいは三重大学に勤務いたしております。
さて、乳がんは日本においても増加しており、16人に1人が乳がんになるといわれています。
乳がんを早期に発見するためには、異常を感じないときにも定期的に自己チェックを

乳腺外来の受診には、事前予約が必要となります。予約は市立病院医事室(☎61・1100)へ